

2月 3-9 日

[詩編 144-146 編](#)

[145 番の歌](#)と祈り | 開会の言葉 (1分) 有田 悟 | 米山 英行

## 神の言葉の宝

1. 「エホバを神とする民は幸せです！」 (10分) 長谷川 貴史

エホバはご自分に頼る人たちを祝福する。 ([詩 144:11-15](#)。 [塔研 18.04 32 ページ 3-4 節](#))

私たちは希望があるので喜べる。 ([詩 146:5](#)。 [塔研 22.10 28 ページ 16-17 節](#))

エホバを神とする人たちは永遠に幸せでいられる。 ([詩 146:10](#)。 [塔研 18.01 26 ページ 19-20 節](#))



エホバに忠実に仕える人は、問題があっても幸せでいられる。

2. 宝石を探し出す (10分) 水品 安章

[詩 145:15, 16](#) 全てのものは期待を抱いてあなたに目を向ける。あなたは季節ごとに食物を与える。  
。 16 あなたは手を開いて、生きている全てのものの願いをかなえる。

この聖句について考えると、動物をどのように扱いたいと思うか。 ([洞-2 306 ページ 4 節](#)) 聖書は下等な生き物を公正と憐れみをもって取り扱うよう教えています。実際、エホバはご自分のことをそれらの動物の命と福祉のために必要なものを愛をもって供給する者と述べておられます。 ([箴 12:10](#); [詩 145:15, 16](#)) モーセの律法は家畜を正しく世話するよう命じていました。家畜が迷っているのを見つけたら、それを持ち主に安全に返さなければなりません。荷に押しつぶされているなら、助けてやらなければなりません。 ([出 23:4, 5](#)) 動物を働かせるときには情け深く扱うべきでした。 ([申 22:10; 25:4](#)) 人間のみならず動物も安息日の休息の益にあずかる

ことになっていました。(出 20:10; 23:12; 申 5:14) 危険な動物は監督するか殺すかしなければなりませんでした。(創 9:5; 出 21:28, 29) 異種交配は禁じられていました。—レビ 19:19。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

自然環境や社会環境が悪化していく一方で(145:9) 自然界に示される神の憐みから慰めを得ている人は大勢いても、示される愛や優しさをエホバと結びつけられる人は多くないはず。それで、(145:11-13) エホバの王権の素晴らしさを詩編 104 編などを用いて上手に伝えていきたい。

### 3. 聖書朗読 下野 輝行

(4分) 詩 144:1-15 (教励 第11課)

## 野外奉仕に励む

### 4. 会話を始める 大谷 恵美子 愛込 1-5 安斎 麻理

(4分) 家から家で。自分は大学生だと言う人に会う。(愛込 レッスン1 ポイント5)

### 5. 再び話し合う 宮崎 倫子 愛込 7-4 星 佳代

(4分) 日常生活で。宣教ツールボックスの動画を紹介する。(愛込 レッスン7 ポイント4)

### 6. 話 伊藤 勇一

(4分) 愛込 付録A ポイント7 主題: 妻が夫に心から敬意を払うことは大切。(教励 第1課)

## クリスチャンとして生活する

### 59 番の歌

### 7. エホバはあなたに幸せになってほしいと思っています (10分) 討議。 長谷川 瑛一

エホバは幸福な神です。(テモ一 1:11) 私たちのことをとても愛していて、幸せになってほしいと思っています。それでたくさんの素晴らしい贈り物をくださっています。(伝 3:12, 13 私はこの結論した。生涯の間、喜び、善を行う。人にとってこれ以上の幸せはない。13人は皆、食べ、飲み、一生懸命働いて充実感を得るとよい。それは神からの贈り物なのだ。) おいしい食べ物と心地よい音という贈り物について考えてみましょう。



「私たちの幸せを願ってエホバが造ったもの おいしい食べ物と心地よい音」の[動画を再生する](#)。  
次の質問をする。

- 食べ物と音という贈り物から、エホバが私たちの幸せを願っていることがどのように分かりますか。 ①舌は5つの基本的な味の違いを識別できただけではなく、10万以上の違った味を楽しむことができる。私たちは舌と鼻を使って味わっている。私たちはただ生きるためだけに食べているのではなく、食べることが大好きで、食べると幸せになる。 ②私たちは生まれる前から音楽を聞くことができ、成長とともに音楽への愛を育てていく。曲を作り、それに感動し、頭の中で繰り返すことができます。 楽器は大抵、音を生み出す部分と、金属や木でできている音を増幅する部分が組み合わさったもので、この仕組みは人間の発声器官に似ているが、どんな楽器も人間の声の美しさにはかなわない。 私たちが声を聞けるのは、聴力があるからで、神への愛を強める話を聞き、与えられた声で喜びを持って神を賛美できる。

(①舌は5つの基本的な味の違いを識別できます。甘み、苦味、そして旨味です。 でも、私たちはその5つだけではなく、10万以上の違った味を楽しむことができます。 どうしてでしょうか。食べ物を噛むと、その匂いも分かり、噛んでいると、香りは喉の奥を通して鼻腔へと流れ込んでいきます。 私たちは舌と鼻を使って味わっているのです。 舌にある味蕾は、生まれる前から発達します。胎児が飲み込む羊水は、お母さんが食べたものの味がすると言われてい ですから、母さんが食べているのと同じものを一緒に楽しんでいると言えるでしょう。 私たちはただ生きるためだけに食べているのではありません。食べることが大好きです。食べると幸せになります。 その理由を聖書はこう述べています。「人は皆食べのみ、一生懸命働いて充実感を得ると良い。それは神からの贈り物なのだ。」 ②世界には音が溢れています。自然の音もあれば、人間が作り出す音もあります。私たちは生まれる前から音楽を聞くことができ、成長とともに音楽への愛を育てていきます。曲を作り、それに感動し、頭の中で繰り返すことができます。 楽器は大抵、音を生み出す部分と、金属や木でできている音を増幅する部分が組み合わさったものです。 この仕組みは人間の発声器官に似ています。とはいえ、どんな楽器も人間の声の美しさにはかないません。 私たちが声を聞けるのは、聴力があるからです。神への愛を強める話を聞き、与えられた声で喜びを持って神を賛美することができます。ヤハを賛美せよ。エホバは良い方。 神の名を賛美して歌え。それは快いことだから。)

[詩編 32:8](#) 私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。あなたに目を留めて助言を与える。  
を[読む](#)。次の質問をする。

- エホバが私たちの幸せを願っていることを考えると、聖書や組織を通して与えてくださっているアドバイスに従いたいという気持ちが強くなるのはなぜですか。  
それが最善の道で、多少苦難を経験しても、それがエホバを喜ばせて賛美できる生き方となる

8. 会衆の必要 (5分) 大谷 正

9. 会衆の聖書研究 (30分) 徹 22章 1-6節 司会：田中 慶一 朗読：有川 聖七

---

閉会の言葉 (3分) | [85番の歌](#)と祈り 竹林 直毅

^ ([詩 144:0-146:10](#)) ダビデによる。 144 私の岩エホバが賛美されますように。神は私の手を戦いのために、私の指を戦闘のために鍛えてくださいます。 2 神は私に揺るぎない愛を示す方、私のとりで、私の安全な避難所\*、私を救い出す方、私の盾、私をご自分のもとに避難させてくださる方、人々を私に服従させる方。 3 エホバ、人は何者なのでしょう、あなたが目を留めるとは。死にゆく人間の子は何者なのでしょう、あなたが気に掛けるとは。 4 人は単なる息のよう。生きる日々は過ぎ去る影のよう。 5 エホバ、天を低くして\*降りてきてください。山々に触れて煙を上げさせてください。 6 稲妻を起こして敵を散らしてください。矢を放って混乱に陥れてくだ